

**地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告**

団体名	特定非営利活動法人 Goodstock	代表者名	代表理事 福本 真一
事業名	空き家問題を解決するためのアップサイクルプロジェクト		

**<事業実施実績>**

年 月 日	活 動 内 容
6月8.29日 7月4.6.11日	拠点整備:古材・廃材の整理・仕分け
9月27日 10月2.3.12日	拠点整備2:古材・廃材整理・仕分け
10月30日 12月11日	RREP(県立大学地域創生人材育成プログラム)企画 古材を用いたサイクルラック制作ワークショップ
10月31日 11月 2日	アップサイクル椅子制作ワークショップ
11月3日～24日	たつのアートシーン「龍野国際映像祭」会場提供&アップサイクル展開催
2月 6日	アップサイクル椅子制作ワークショップ(相生地区出張)
2月11日	アップサイクル住宅の検討会議
3月19.20日	アップサイクルイベント「UPCYCLE PRINT vol.2」開催 ・古着の上にシルクスクリーンを施すワークショップ ・Goodstock Market(=空き家や地域の寄付からなる食器のフリマ)

## <効果と成果>

アップサイクルプロジェクトは、空き家の中に眠っている古家具・古材や廃材をレスキューし、新しい姿でもう一度役目を果たしてもらう取り組みです。拠点づくり・家具づくりの工程を街に開き、地域住民との接点を増やして、街の人に空き家問題を「自分ごと」として捉えてもらうことをねらいとしています。

空き家の中に眠っている古い家具は現代の住居のサイズ感にマッチせず、日本家屋の階段といったものもまた、使い道をなくして廃棄される運命にあります。これらを地域の中で再び循環させるために、地域づくりやリノベーションに興味のある学生さん・地域住民や移住した若い世代を巻き込み、一緒に手を動かしてアップサイクルプロダクトの開発やフリーマーケットのイベントを開催してきました。

今年度開催した食器のフリーマーケットでも、地域のおばあちゃんにお店番をしてもらい、徳利を一輪挿しに転用するなど、自由な発想で食器の使い方を提案しながら接客していただいたので、来場者に良い食器との出会い、おばあちゃんに活躍の機会を設けることができました。

「空き家の中にあるものは、ゴミではなくて地域の中で再び活躍の場を持てる資源なのだ」ということが広く認知されれば、空き家の中の「お荷物」になっている筆筒や家具は次の誰かの元へ行き、結果的に片づけられた空き家もまた再び流通しやすくなると考えています。

## <収支決算書>

### (収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	400,000
参加費・売り上げ	27,600
自己資金	2,952
合計	430,552

### (支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	人件費	56,000	56,000
	謝金	40,000	40,000
	備品費	77,316	77,316
	その他 (材料費、消耗品等)	172,099	141,547
	小 計	345,415	314,863
間接経費 (一般管理費)		85,137	85,137
合 計		430,552	400,000